チームワークの全て　Part 1

さて、何かとチームワークが神のように崇められがちな昨今ですが、そもそもチームワークとは何なのか？どんな時にチームワークは大事で、どんな時にチームワークは不必要なのか？と言う事を今回の動画では、掘り下げて行きます。

まず、チームワークの定義（定義は様々）ですが、「複数の人間が、それぞれの力を合わせて何かをする事」と言う意味です。

例えば、一人の力では持ち上げる事が出来ない家具を、もう一人誰かが加わる事で、２人の力が合わさって持ち上げる事が出来るようになる。

例えば、営業で受注すると言うゴールがあったとして、営業電話先のリスト作りをするのが得意な人が居て、営業電話をするのが得意な人が居て、商談でクロージングするのが得意な人が居るとしましょう。各自でリストを作って、電話をして、商談に行ってと言うように一人で受注を獲りに行くよりも、各自が得意な事だけを活かして、３人で一件の受注を獲りに行くと言うのが無数あるチームワークの一つの形ではないでしょうか？

と言うように、チームワークと言うのは、水のように状況場面によって、どう言う形になるのか？と言う事はもちろん、変わってきますが、変わらないのは複数人の力が合わさっていると言う事ではないでしょうか？

一人では出来ない事、一人だと難しい事、時間が掛かってしまう事が、他の誰かの力が加わった事によって、出来るようになる、簡単になる、すぐに終わると言う事が多くあると思いますが、その反面チームワークを神格化し過ぎて忘れがちなのが、他の誰かの力が加わったら逆に、状況が悪化してしまう事だって、もちろんあるのです。

チームワークの限界と活用できる範囲の線引きを知っておく事で、より効果的に組織が回せるようになるであろうと言う事で、チームワークが有効である場面や必要無い状況を次の動画ではお話ししたいと思います。